開設科目名	看護英語	科目コード	BSNMG401	開設期	4年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN, 秦野環		
授業の概要(授業の目的)					
The purpose of this class is to introduce English conversation in a hospital setting. Students will learn how to communicate with foreign patients and hospital staff, assess patients, and care for patients. Students will also enjoy expressing their opinions about they carry out their nursing care activities.					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
Students will review nursing and medical English vocabulary from their second year.				11 異文化理解と国際貢献	
Students will practice how to give and defend their opinions in discussions.					
Students will research a medical topic and present it in class.					
Students will practice asking and answering questions in a conference setting.					
Students will carry out role plays of various situations at clinics and hospitals.					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Introduction; Outpatient ward (1): Symptoms & External Anatomy	講義	FORTIN	Bring motivation	1時間
2	The outpatient ward (2): Accidents & Medication	講義	FORTIN	Review role-plays	2時間
3	The inpatient ward (1): Internal Anatomy & Hospital tests	講義	FORTIN	Review role-plays	2時間
4	The inpatient ward (2): Surgery & Recovery	講義	FORTIN	Review role-plays	2時間
5	International health (1): General situation in developing countries	講義	秦野	Review role-plays	2時間
6	International health (2): Personal experiences in developing countries	講義	秦野	Review role-plays	2時間
7	The elderly & People with disabilities	講義	FORTIN	Preliminary Presentation preparation	4時間
8	A nurse's job: Recap & Discussion	講義	FORTIN	Presentation preparation	4時間
成績評価方法・基準	Final presentations: 50%; Participation (including role plays and discussions) : 50%				
課題に対するフィードバック	・毎回の復讐と正しい発音・英会話の使い方の指導 ・質疑応答し方のヒント				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	教員からのプリント				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin (6号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30				

開設科目名	保健医療福祉行政論	科目コード	BSNFN401	開設期	4年前期
単位数(履修区分)	1単位(自由)	時間数	15時間	授業区分	講義、演習
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子		
授業の概要(授業の目的)					
保健医療福祉行政の最近の動向ならびに地域公共団体の保健・医療・福祉行政の理念と仕組み及び計画策定、実行、評価のサイクルについて学び、公衆衛生分野における保健師の役割、地域での活動方法を理解する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 保健医療福祉の重要な制度と関係法律について説明できる。				◎3 看護実践知識 ◎4 論理的・科学的問題発見力 ◎5 問題解決判断力	
2. 保健医療福祉の関係機関の連携のあり方について説明できる。					
3. 保健医療福祉分野において看護職が果たす役割について説明できる。					
4. 保健医療福祉の計画と評価について説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	保健医療福祉サービスの行政体系 保健医療福祉行政の目的、市町村・都道府県の役割	講義	眞崎	教科書のP2-15、54-61を読んでおくこと。 各講義終了時に指示する。	4時間
2	子育て支援 「健やか親子21」の推進施策、	講義	眞崎	教科書P35-39を読んでおくこと 各講義終了時に指示する。	4時間
3	精神医療保健福祉対策 精神障害者の社会復帰施策、精神医療の法律と制度	講義	眞崎	教科書P44-46を読んでおくこと 各講義終了時に指示する。	4時間
4	福祉行政 障害者総合支援法、医療費公費負担制度など	講義	眞崎	教科書P142-148を読んでおくこと 各講義終了時に指示する。	4時間
5	医療行政、 医療計画、地域医療の確保、医療安全対策など	講義	眞崎	教科書P95-110を読んでおくこと 各講義終了時に指示する。	4時間
6	介護保険制度 介護保険制度の概要、サービス内容など	講義	眞崎	教科書P114-125を読んでおくこと 各講義終了時に指示する。	4時間
7	感染症法と人権擁護 結核、エイズ対策など	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	4時間
8	保健医療福祉行政についての討議	演習 討議	眞崎	これまでの資料 各講義終了時に指示する。	4時間
成績評価方法・基準	課題 GW 発表 質疑応答 30%、個人課題 30% 定期試験(中間・期末試験) 40%				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、プレゼン発表時にコメントし、課題についてはコメントをつけて返却する。				
教科書	・標準保健師講座 保健医療福祉行政論：医学書院 ・国民衛生の動向：厚生統計協会 ・公衆衛生看護学。JP：インターメディカル				
参考書・参考文献	・保健師業務要覧				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	眞崎直子 オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10、その他在室時 公衆衛生看護学領域の基礎となる科目です。保健師や他機関の役割に関心をもって臨んでください。 * ICT の活用：演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。				

開設科目名	医療統計学Ⅲ	科目コード	BSNFN402	開設期	4年前期
単位数(履修区分)	1単位(自由)	時間数	15時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代		
授業の概要(授業の目的)					
医療統計学Ⅰ・Ⅱの理解を基礎に、疫学で用いられる生物統計学の実践的活用法を習熟する。疫学調査と保健活動における統計学理論を振り返り、実例に対応できる能力を醸成する。もって、保健師として将来活動する際の医療統計学に関する基盤的知識と判断力を培う。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 連続データを図表化し、分布の特性と代表値が説明できる。				3 看護実践知識	
2) データを集計し、2変量の関係を図表化できる。				◎4 倫理的・科学的問題発見力	
3) 尺度の種類を理解し、適切な検定手法の選択ができる。				◎5 問題解決判断力	
4) 推測統計の考え方を理解し、検定結果の意味を説明できる。				7 情報リテラシー	
5) 人口統計と保健統計調査の動向が説明できる。				◎9 科学的根拠に基づく看護	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	人口統計	講義	堤	講義中に出された課題について調べる	4時間
2	保健統計調査	講義	堤	講義中に出された課題について調べる	4時間
3	尺度の種類(度数分布とヒストグラム)	演習	堤	課題プリントで知識の確認を行い、次回の講義で質問する	4時間
4	一変量の記述統計(代表値)	演習	堤	課題プリントで知識の確認を行い、次回の講義で質問する	4時間
5	二変量の記述統計(クロス集計・相関)	演習	堤	課題プリントで知識の確認を行い、次回の講義で質問する	4時間
6	推測統計の考え方と検定の種類	演習	堤	課題プリントで知識の確認を行い、次回の講義で質問する	4時間
7	平均の差の信頼区間とt検定	演習	堤	課題プリントで知識の確認を行い、次回の講義で質問する	4時間
8	χ^2 乗検定とオッズ比	演習	堤	課題プリントで知識の確認	1時間
成績評価方法・基準	筆記試験 100%				
課題に対するフィードバック	講義中に前回の課題についての解説を行う				
教科書	加納克巳他著『基礎医学統計学』南江堂				
参考書・参考文献	柳川堯著『新 看護・リハビリ・福祉のための統計学』近代科学社				
Q&A 学習相談 メッセージ その他	堤 千代 オフィスアワー(火) 12:10~13:10 2号館 220室(内線 240) tsutsumi@stmariacjp.onmicrosoft.com 統計ソフトを操作しながら、統計学の知識を身につけていきます。 演習はすべてパソコンを使用しますので、242 パソコン室で授業を行います。 保健師国家試験に対応した内容ですので、課題プリントで必ず復習を行ってください。				

開設科目名	疫学Ⅲ	科目コード	BSNFN403	開設期	4年 前期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	井手 悠一郎	担当者	井手 悠一郎		
授業の概要（授業の目的）					
公衆看護の実践に必要な疫学の概念と方法についての基本を理解し、将来、保健師として活動するための実践応力を身につける。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
保健師において必要とされる疫学知識を習得する			3. 看護実践知識		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	疫学の概念	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
2	疾病頻度の指標	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
3	曝露効果の指標	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
4	疫学調査法	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
5	スクリーニング	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
6	疾病登録	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
7	生活習慣病の疫学	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
8	主な疾患の疫学、エビデンスに基づく公衆衛生看護に関連する疫学	講義	井手	授業内容の復習	2 時間
成績評価方法・基準	<p>①各回の復習レポート 50%（提出はWebClass（専門基礎分野（全学年））に行ってください。）</p> <p>②筆記試験 50%（前期試験期間中に実施します、持込は不可です）</p>				
課題に対するフィードバック	試験後、筆記試験の模範解答は WebClass（専門基礎分野（全学年））に掲載します。				
教科書	指定なし				
参考書・参考文献	<p>医学書院『基礎から学ぶ 楽しい疫学』（授業はこちらに基づいて行います。疫学について深く学びたい人には購入をお勧めします）</p> <p>医学書院『標準保健師講座 疫学・保健統計学』（第 7 回内容はこちらに基づいて行います）</p>				
オフィスワーク 学習相談 メッセージ	<p>連絡先 井手悠一郎（6 号館 2 階 井手悠一郎研究室）、オフィスアワー：火曜 16：00～17：00</p> <p>※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。</p> <p>メール等での質問も可です。（アドレスについてはOffice 365を参照してください）</p> <p>ICTの活用：復習レポートにおいては、1～8回の授業内容についての復習ノートを作成し、Office Lens等で撮影を行った上で、WebClass（専門基礎分野（全学年））へ提出してください（提出可能形式：.doc、.pdfのみ）</p> <p>また提出してもらった小レポートは、今年度以降もコースに残す予定です。授業終了後も必要に応じ、提出物の参照等をおこなってください。</p>				

開設科目名	臨床看護学実習Ⅱ	科目コード	BNSA 305	開設期	3年後期・4年前期
単位数(履修区分)	3単位(必修)	時間数	135時間	授業区分	実習
責任者	崎田 マユミ	担当者	日高艶子、崎田マユミ、近末清美、小浜さつき、秦朝子、石本祥子、谷口あけみ、赤坂天貴子、塩汲望美、松野 史、他		
授業の概要(授業の目的)					
慢性疾患、慢性の機能障害を持つ成人期の患者にROI適応看護モデルを適用し看護過程を展開する。特にセルフケアと自己概念、対処の傾向を理解する。また、適応状況を維持、促進するための自己管理を目標とした患者教育について学ぶ。さらに、慢性疾患、慢性の機能障害を持つ患者と家族、医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1.慢性疾患、慢性の機能障害を持つ成人期の患者の行動のアセスメント、刺激のアセスメント、看護診断、目標、介入、評価ができる。				◎3. 看護実践知識	
2.看護過程の展開は、全ての段階において常にクリティカルに思考することができる。				4.論理的・科学的問題発見力	
3.対象者のセルフケアと自己概念、対処行動について述べるができる。				◎5. 問題解決判断力	
4.対象者の適応状況を維持・促進するためのセルフマネジメントを目標とした患者教育について述べるができる				◎8. 看護実践技術	
5.慢性疾患、慢性の機能障害を持つ患者と家族、医療関係者との関係を通して看護専門職としての倫理観や価値観、公平性、相手を尊重する態度について述べるができる。				9. 科学的根拠に基づく看護	
				◎10. ケアリングの実践	
				11. 多様な価値を尊重する態度	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	担当者	方法	予習・復習(学習課題)	
1	Nursing Clinical Practicum Hand Book (実習ハンドブック) 参照	各指導 教員	実習	実習ハンドブックおよびオリエンテーション資料を読んでおく、	
2				ROI適応看護モデルの復習	
3				観察や測定技術の復習	
4				患者の疾患・病態、検査・治療・薬剤に関する学習	
5				慢性期看護の復習	
6				その他、各自の不足する内容を学習する	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準	臨床看護学実習Ⅱの評価表に基づく評価 100%				
課題に対するフィードバック	実習前・実習中・実習後にコメントを伝えフィードバックします。				
教科書	① シスター・カस्ता・ロイ/松木光子監訳：ザ・ROI適応看護モデル、第2版、医学書院、 ② 日本看護診断学会監訳：NANDA- I 看護診断 定義と分類 2018-2020、日本看護診断学会、医学書院、2018。 ③ Lynn S. Bickley 他著、福井次矢他監修：バイツ診察法 第2版。メディカル・サイエンス・インターナショナル、2015。				
参考書・参考文献	・『病気がみえる』シリーズ ・臨床看護診断学、スキルラボ臨床レベル1・2、臨床看護学方法論Ⅱ、臨床看護学方法論演習等で使用したテキスト・資料				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	オフィスアワー：崎田マユミ(7号館3階733号室)；火曜16:30～17:30 ※上記時間以外は事前に予約をしてください。メールアドレス：sakita@stmaryacjp.onmicrospft.com 学習相談：実習全般に関する問い合わせは科目責任者にご連絡下さい。 各実習病棟での実習に関する問い合わせは各指導教員にご連絡下さい。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	公衆衛生看護管理論Ⅱ	科目コード	BSNANS401	開設期	4年前期
単位数(履修区分)	2単位(自由)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子、眞崎直子、堤千代、渋江暁春、野上裕子		
授業の概要(授業の目的)					
地域保健課活動に係わる参加型実践方法を探求する。疫学・統計手法による地区診断モデルを探求する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
3. 地域保健活動の展開理論、方法について実際の活動事例を用い学ぶ。			3 看護実践知識		
4. 理論・方法を用いた文献から活動展開上の課題を探求する。			4 論理的・科学的問題発見力		
5. 活動展開に要する住民全体の関係機関・関係者との連携・協働に係わる参加型実践方法、 ならびに、疫学・統計手法による地区診断の方法・技術を学び、地域看護活動展開上の 質的・量的根拠資料の作成技術を習得する。			◎5 問題解決判断力 ◎8 看護実践技術 ◎9 科学的根拠に基づく看護		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	地域保健活動の動向 地域保健活動に係わる理論・モデル	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	2～3時間
2	地域保健活動に係わる理論と実践活動 必要な情報とは 必要な情報と情報の入手法 地域診断とPDCAサイクルによる実践方法	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	2～3時間
3	地域保健活動参加型実践方法 アセスメントの方法 計画と実践、評価法	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	2～3時間
4	疫学・保健統計 統計資料の入手と分析法	講義	堤	各講義終了時に指示する。	2～3時間
5	疫学・保健統計の実際	講義	堤	各講義終了時に指示する。	2～3時間
6	地域診断の実際(1) 実習地域の情報収集	講義 フィールドワ ーク	眞崎・堤・渋江・野上	各講義終了時に指示する。	2～3時間
7	地域診断の実際(2)	講義・演習	眞崎・堤・渋江・野上	各講義終了時に指示する。	2～3時間
8	地域保健活動実践(1) 健康教育のシナリオ作成及び指導	講義 演習	眞崎・堤・渋江・野上	各講義終了時に指示する。	2～3時間
9	地域保健活動実践(2) 健康教育のシナリオ作成及び指導	講義 演習	眞崎・堤・渋江・野上	各講義終了時に指示する。	2～3時間
10	地域保健活動実践(3) 健康教育のシナリオ作成及び指導	演習 講義	眞崎・堤・渋江・野上	各講義終了時に指示する。	2～3時間
11	地区踏査の発表(1)	演習	眞崎・堤・渋江・野上	各講義終了時に指示する。	2～3時間
12	地区踏査の発表(2)	演習	眞崎・堤・渋江・野上	各講義終了時に指示する。	2～3時間
13	地区踏査の修正(1)	演習	眞崎・堤・渋江・野上	各講義終了時に指示する。	2～3時間
14	地区踏査の修正(2)	演習	眞崎・堤・渋江・野上	各講義終了時に指示する。	2～3時間
15	地域保健活動におけるグループ支援・組織化	講義	眞崎・堤・渋江・野上	各講義終了時に指示する。	2～3時間
成績評価方法・基準	プレゼンテーション 50%、定期試験(中間・期末試験) 50%				
課題に対するフィードバック	プレゼンテーションのフィードバック: 各プレゼンテーション後の意見交換、定期試験のフィードバック: 出題意図を説明する。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生看護学 j P: インターメディカル ・国民衛生の動向: 厚生統計協会 ・公衆衛生看護学演習・実習: クオリティケア ・保健師業務要覧 				
参考書・参考文献	・適宜提示する。				
ワイアラー 学習相談 メッセージ その他	眞崎直子 オフィスアワー: 火曜日 12:10～13:10、その他在室時 7号館2階722室(内線722) * ICTの活用: 演習後はWebClassで理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他: この科目は保健師として実務経験を有する教員が公衆衛生看護について教授する科目です				

開設科目名	集団・組織援助論Ⅱ	科目コード	BSNANS402	開設期	4年前期
単位数(履修区分)	2単位(自由)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤千代	担当者	堤千代、眞崎直子、洪江暁春、野上裕子		
授業の概要(授業の目的)					
実習施設ごとの指定されたテーマに沿って、住民対象の健康教室を実施するための指導案を作成する。その演習を通して、地域の健康課題を集团的アプローチによって解決する手法について学び、実習前の実現地域における健康教育の技術・方法にかかる、実践的な能力を育成する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 健康課題と行政施策との繋がりについて、説明できる			3 看護実践知識		
2) 健康教育を行う意義について、根拠に基づき説明できる			◎4 倫理的・科学的問題発見力		
3) 提供する健康情報のエビデンスを生物学的側面、疫学的側面から説明できる			◎5 問題解決判断力		
4) 授業構成を工夫し、指導の一連の過程を明示した指導案を作成できる			8 看護実践技術		
5) 対象者の特性をとらえ、それに合わせたプレゼンテーションの工夫ができる			◎9 科学的根拠に基づく看護		
6) 実施した健康教室の評価の視点を述べる事ができる			13 地域国際社会への貢献		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	健康課題把握(地域診断)に基づく活動計画・実践・評価	講義	眞崎	地域診断から活動計画・実施・評価について学習	4時間
2	住民ニーズの施策化	講義	眞崎	ニーズの把握方法から施策化について学習する	4時間
3	地域におけるグループ支援・組織化	講義	眞崎	グループ支援・組織化について文献などで学習する	4時間
4	健康教育の位置づけとエビデンスの追究	講義・演習	堤	担当地域の特性について情報収集を行う	4時間
5	教室の構成と指導案	講義・演習	堤	担当地域の特性について情報収集を行う	4時間
6	指導案の書き方と媒体	講義・演習	堤	担当地域の特性について情報収集を行う	4時間
7	指導案作成演習① 情報収集	講義・演習	堤	担当地域の特性について情報収集を行う	4時間
8	指導案作成演習② 指導案構成	演習	堤	担当地域の特性について情報収集を行う	4時間
9	担当地域の健康教育指導案作成演習①エビデンス	演習	堤・洪江	担当地域のテーマについて指導案を作成する	4時間
10	担当地域の健康教育指導案作成演習②導入	演習	堤・洪江	担当地域のテーマについて指導案を作成する	4時間
11	担当地域の健康教育指導案作成演習③展開	演習	堤・洪江	担当地域のテーマについて指導案を作成する	4時間
12	担当地域の健康教育指導案作成演習④まとめ	演習	堤・洪江	プレゼンテーションの準備しておく	4時間
13	プレゼンテーション①健康教育指導案発表	演習	堤・他	プレゼンテーションの準備しておく	4時間
14	プレゼンテーション②住民役からの意見	演習	堤・他	指導案の修正を行い、実習に臨む	4時間
15	修正についてのグループディスカッション	演習	堤・他	指導案の修正を行い、実習に臨む	4時間
成績評価方法・基準	演習中の積極性 30%、e-ポートフォリオによる成果物の蓄積 50%、発表 20%				
課題に対するフィードバック	学内発表時にフィードバックします				
教科書	・荒賀直子他：第4版 公衆衛生看護学.jp インターメディカル 2017 ・厚生統計協会：国民衛生の動向 2019/2020				
参考書・参考文献	・日本看護協会「新版保健師業務要覧」日本看護協会出版 2015				
オフィス学習相談メッセージその他	堤 千代 オフィスアワー(火) 12:10~13:10 2号館 220室(内線 240) 実習地域に関心を持ち、対象の特性をとらえましょう。また、健康情報のエビデンスを探究し、住民に質問されても回答できる知識の上で健康教室を実施してください。 その他：この科目は保健師として実務経験を有する教員が教授する科目です				

開設科目名	個人・家族援助論Ⅱ	科目コード	BSNANS403	開設期	4年前期
単位数(履修区分)	2単位(自由)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	渋江暁春	担当者	渋江暁春、眞崎直子、野上裕子		
授業の概要(授業の目的)					
家庭訪問事例における対象別援助ニーズに応じた家族保健指導および家庭訪問の実践能力を育成する。また、対象別保健活動の動向を理解し、家庭訪問・健康相談からケアシステム構築までの発想を高める。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 対象別保健活動の動向と保健指導について理解する。			◎3 看護実践知識		
2. 家庭訪問における指導・相談・支援技術について習得する。			4 倫理的・科学的問題発見力		
3. 家庭訪問・健康相談からのケアシステムの構築について理解する。			◎5 問題解決判断力		
			8 看護実践技術		
			◎9 科学的根拠に基づく看護		
			12 他職種協調・リーダーシップ		
			13 地域国際社会への貢献		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	感染症保健活動	講義	渋江	感染症保健活動について教科書を読んでおく	4時間
2	高齢者保健活動	講義	渋江	高齢者保健活動について教科書を読んでおく	4時間
3	精神保健活動①	講義	眞崎	精神保健活動について教科書を読んでおく	4時間
4	精神保健活動②	講義	眞崎	精神保健活動について教科書を読んでおく	4時間
5	難病保健活動	講義	眞崎	難病保健活動について教科書を読んでおく	4時間
6	母子保健活動	講義	野上	母子保健活動について教科書を読んでおく	4時間
7	成人保健活動	講義	野上	成人保健活動について教科書を読んでおく	4時間
8	家庭訪問(目的・計画・アセスメント・評価)	講義	渋江・眞崎・野上	家庭訪問について教科書を読んでおく	4時間
9	家庭訪問の実際(母子)新生児訪問(ロールプレイ含む)	講義・演習	渋江・眞崎・野上	家庭訪問の実際について教科書を読んでおく	4時間
10	家庭訪問演習(1)家庭訪問計画作成(ロールプレイ含む)	講義・演習	渋江・眞崎・野上	家庭訪問の実際について教科書を読んでおく	4時間
11	家庭訪問演習(2)家庭訪問計画作成及び発表(ロールプレイ含む)	講義・演習	渋江・眞崎・野上	家庭訪問の実際について練習しておく	4時間
12	乳児健診に関する演習(ロールプレイ含む)	講義・演習	渋江・眞崎・野上	乳児健診の実際について教科書を読んでおく	4時間
13	1歳半・3歳児健診に関する演習(ロールプレイ含む)	演習・演習	渋江・眞崎・野上	1歳半・3歳児健診について教科書を読んでおく	4時間
14	家庭訪問演習(1)指導・相談・支援技術(ロールプレイ含む)	演習	渋江・眞崎・野上	家庭訪問の実際について教科書を読んでおく	4時間
15	家庭訪問演習(2)指導・相談・支援技術の発表と評価(ロールプレイ含む)	演習 討議	渋江・眞崎・野上	家庭訪問の実際について練習しておく	4時間
成績評価方法・基準	授業中に出す課題 40% 演習 60%				
課題に対するフィードバック	演習時にフィードバックします。				
教科書	・荒賀直子他「公衆衛生看護学。JP」インターメディカル 2019 ・標準保健師講座・3「対象別公衆衛生看護活動」医学書院 2019 ・厚生統計協会「国民衛生の動向 2019/2020				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	渋江 暁春(6号館2階 624 研究室)、オフィスアワー: 火曜日 12:10~13:10 9回目から14回目の家庭訪問演習は、公衆衛生看護学実習の事前学習として、実習前1週間の中で行う。 その他: この科目は保健師として実務経験を有する教員が教授する科目です				

開設科目名	公衆衛生看護学実習	科目コード	BSNANS404	開設期	4年前期・後期
単位数（履修区分）	5単位（自由）	時間数	225時間	授業区分	実習
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子、本田歩美、田中貴子		
授業の概要（授業の目的）					
地域全体を対象として捉え、地域の健康問題を抽出する方法を学ぶ。また、地域住民がヘルスプロモーションを基盤とした健康予防活動の実践ができるような支援技術を学ぶ。一方、単独訪問や継続訪問を通し個の支援技術を体得し、さらに個の問題の集積を地域全体の健康課題につなげ、その課題を解決するための施策化の過程を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連		
1. 地域の概況を把握し健康課題の根拠を示すことができる。			3 看護実践知識		
2. 健康教育の企画立案・実施・評価ができる。			4 論理的・科学的問題発見力		
3. 健康相談・家庭訪問・健康診査の法的根拠及び実施のプロセスと他職種との連携が理解できる。			◎5 問題解決判断力		
4. 地域ケアシステムの実践及び保健師の役割について理解できる。			◎8 看護実践技術		
5. 施策化に必要な根拠と過程を理解する。			◎9 科学的根拠に基づく看護		
6. 健康危機管理に必要な根拠と、組織的な管理体制について理解する。			10 ケアリングの実践		
			12 他職種協働リーダーシップ		
			13 地域国際社会への貢献		
			14 看護学発展への主体的探究姿勢		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習（学習課題）	取組時間
	<p>1)実習計画書に基づき、保健事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各実習場所での健康教育を実施する。 各実習場所での地区診断の発表をする。 <p>実習指導者からの指導を受け、地区診断の修正や加筆を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健康診査、家庭訪問などの保健事業を実施する。 <p>2)地域における人々の尊厳と権利</p> <ul style="list-style-type: none"> 権利保障について <p>3)地域における様々な人口集団と個人・家族の健康な生活を保障する</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域における在日外国人の動向・文化的背景についても考察する。 <p>*詳細については、実習要項を参照する。</p>	実習	眞崎 本田 田中	<p>1)実習計画表に基づき、事前・事後学習をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習で探求する課題を決定する。 各実習場所から提示された健康教育の課題にそって、担当教員の指導を受けながら決定し、健康教育計画、健康教育の位置づけ、指導案等を作成する。 健康教育のデモンストレーションを実施し、担当教員より指導を受けながら修正をする。 実習場所の地区踏査や地区診断を実施し、各グループで発表する。 <p>担当教員より指導を受け、修正や加筆を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問や乳幼児健康診査の演習を実施する。 	5時間
成績評価方法・基準	実習評価表にもとづく、実習目標到達および実習態度の評価 100%				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、プレゼン発表時にコメントし、課題についてはコメントをつけて返却する。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・荒賀直子他：公衆衛生看護学。j p インターメディカル ・井伊久美子他：保健師業務要覧（最新版）日本看護協会出版会 ・厚生統計協会：国民衛生の動向（最新版）・公衆衛生看護学演習・実習：クオリティケア 				
参考書・参考文献	*参考資料は随時提示します。				
オフィス学習相談 メッセージ その他	<p>眞崎直子（7号館2階722研究室） 火曜日 12:10~13:10、その他在室時 masaki@stmaryacjp.onmicrosoft.com（質問もメールでも受け付けます。）</p> <p>*ICTの活用：演習後はWebClassで理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。</p> <p>実習期間が夏季なので、体調管理を十分に実施して下さい。質問は随時受け付けます。</p> <p>その他：この科目は保健師として実務経験を有する教員が公衆衛生看護について教授する科目です</p>				

開設科目名	看護研究Ⅱ	科目コード	BSNANS11	開設期	3年後期～4年通年
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	90時間	授業区分	講義
責任者	中村和代	担当者	ゼミ担当教員		
授業の概要(授業の目的)					
<p>関心のあるテーマについて目的を明確にし、データを収集する。得られた結果について文献を活用して考察し、結論を導くという一連のプロセスを学修する。合わせて科学的思考、問題解決及び看護を探究していく姿勢を養う。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 関心をもった内容を課題として明らかにできる			4. 論理的・科学的問題発見力		
2) 課題を探究する動機や課題の背景について先行研究を活用して記述できる			4. 論理的・科学的問題発見力		
3) 研究目的を明確にし、5W1Hを意識して研究計画書を作成できる。			5. 問題解決判断力		
4) 倫理的配慮に留意し、研究計画書に沿ってデータを収集できる			4. 論理的・科学的問題発見力, 5. 問題解決判断力		
5) 得られたデータを適切な方法で分析し、図表を活用して結果を表現できる。			5. 問題解決判断力		
6) 結果について文献を活用して考察し科学的・論理的に結論を導くことができる			9. 科学的根拠に基づく看護		
7) 研究テーマ、研究目的、結果、結論まで筋が通るように記述できる。			14. 看護学発展への主体的探究姿勢		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	ガイダンス	講義	中村	関心のあるテーマについて文献収集しておく	
	文献収集 論文のクリティーク 研究計画書作成 研究実施 結果の分析 論文作成	ゼミナール	ゼミ担当者	研究のすすめ方は、指導教員の指示による	
成績評価方法・基準	ゼミナールへの参加状況・態度 30%, 研究実施、抄録・論文作成 70%				
課題に対するフィードバック					
教科書	特になし				
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・道又元裕; ケアの根拠 第2版 看護の疑問に答える180のエビデンス, 日本看護協会出版会 ・早川和生; 看護研究の進め方 論文の書き方 第2版, 医学書院, 2014 ・中村好一; 基礎から学ぶ楽しい学会発表・論文執筆, 医学書院, 2013 				
メッセージ オフィスアワー 学修相談 その他	<p>各ゼミ担当教員のオフィスアワーをご参照ください。</p> <p>実習中に疑問に思ったこと、エビデンスを探究したいこと等、その都度控えておきましょう。</p> <p>指導教員と連絡を密に取り、計画的に進めましょう。</p> <p>中間発表会、最終発表会については、指導教員の指示に従ってください。</p> <p>オフィスアワー：毎週(月) 17:00-18:00, 各指導教員のオフィスアワーは、ご確認ください。</p> <p>学修相談は、随時、受付ます。Office365 メール利用も可</p> <p>その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です</p>				

開設科目名	看護教育論	科目コード	BSNANS406	開設期	4年後期
単位数(履修区分)	1単位(自由)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	大池美也子	担当者	大池美也子		
授業の概要(授業の目的)					
教育の基本概念及び看護の歴史の変遷過程を理解し、看護教育の方法・評価の実際を学び、今後の看護教育の課題について教授する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 日本の看護教育の歴史の変遷を理解できる			10 将来の課題と看護職の役割		
2. 看護教育の方法・評価を理解できる			10 将来の課題と看護職の役割 9 看護職の責務と医療安全管理		
3. 今後の我が国の看護教育における課題を考えることができる			10 将来の課題と看護職の役割		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	看護教育の歴史	講義	大池	講義中に配布した資料に目を通す	4時間
2	教育の制度と課程	講義	大池	指定教科書第2章に目を通す	4時間
3	学習理論	講義	大池	講義中に配布した資料に目を通す	4時間
4	教育の方法	講義	大池	講義中に配布した資料に目を通す	4時間
5	教育の評価	講義	大池	指定教科書第6章に目を通す	4時間
6	継続教育	講義	大池	指定教科書第7章に目を通す	4時間
7	諸外国の看護教育	講義	大池	講義中に配布した資料に目を通す	4時間
8	我が国の看護教育における課題	講義	大池	レポートの作成	4時間
成績評価方法・基準	課題レポート70%、講義参加状況30%で評価をする。				
課題に対するフィードバック	講義毎に前回の講義内容を振り返り、理解の程度を確認する。				
教科書	・杉森 みどり/舟島 なをみ：看護教育学第6版、医学書院、2016				
参考書・参考文献	・グレッグ美鈴/池西悦子：看護教育学、南江堂、2009				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	大池 美也子(非常勤) 講義終了後、教室で質問を受け付けます。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	ケアリングサイエンス	科目コード	BSNANS407	開設期	4年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、井手信、桃井雅子、中村和代、崎田マユミ、秦野環、谷多江子、大城知恵、他		
授業の概要(授業の目的)					
ケアリングサイエンスは、本学の教育理念に基づく科目と位置づける。これまでの講義や演習、実習で学んだケアの意味、ケアの方法、ケアの実践を通してケアリング及びケアリングサイエンスについて検討し、本学が目指すいのちの支援者について探求する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 本学の建学の精神とケアリングサイエンスの関連を説明できる。			1. 生命の価値・人間の尊厳、 10. ケアリングの実践		
2) 実習で経験した、さまざまな対象へのケアの実践を通して看護の本質的な概念としてのケアリングを述べることができる。					
3) ケアリングを学ぶことで、いのちの支援者としての看護職の役割や責任を説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	建学の精神とケアリングサイエンス	講義	井手信	建学の精神について、これまでの学修を通して思考し講義に臨む。	2時間
2	Caring and Practice ケアリングの実践 ①いのちの誕生とケアリング	講義	桃井他	母性看護学実習の経験を通して、いのちの誕生とケアリングについて思考し講義に臨む。	2時間
3	Caring and Practice ケアリングの実践 ②子どもとケアリング	講義	大城他	小児看護学実習の経験を通して、子どもとケアリングについて思考し講義に臨む。	2時間
4	Caring and Practice ケアリングの実践 ③成人とケアリング	講義	崎田	臨床看護学実習Ⅰ、Ⅱの経験を通して、成人とケアリングについて思考し講義に臨む。	2時間
5	Caring and Practice ケアリングの実践 ④老年とケアリング	講義	中村	老年看護学実習の経験を通して、老年とケアリングについて思考し講義に臨む。	2時間
6	Caring and Practice ケアリングの実践 ⑤精神障がい者とケアリング	講義	谷	精神看護学実習の経験を通して、精神障がい者とケアリングについて思考し講義に臨む。	2時間
7	Caring and Practice ケアリングの実践 ⑥リハビリテーションとケアリング	講義	日高	リハビリテーションとケアリングについて思考し講義に臨む。	2時間
8	Caring and Practice ケアリングの実践 ⑦異文化とケアリング ケアリングサイエンスの課題	講義	秦野	異文化とケアリング、ケアリングサイエンスの課題について思考し講義に臨む。	2時間
成績評価方法・基準	授業中に出す課題 30%、レポート課題 70%				
課題に対するフィードバック	レポート課題については後日教員が返却します。				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	Mメイヤロフ(1971・1987 日本版訳) ケアの本質—生きることの意味は— Mレイニンガー(1992・1995 稲岡訳)レイニンガー—看護論、文化ケアの多様性と普遍性 Jワトソン(1988・1992・稲岡訳)：ワトソン看護論—人間科学とヒューマンケア— Jワトソン(日本語版・2003) 看護におけるケアリングの探求—手がかりとしての測定用具 Pベナー(1984・2005 井部他訳)：ベナー看護論—初心者から達人へ ネル・ノディングス(日本語版 2007) 学校におけるケアの挑戦—もうひとつの教育を求めて ネル・ノディングス(日本語版 2008) 幸せのための教育				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	事前・事後の予習・復習と、学んだことの整理をしておくこと。 オフィスアワー：日高艶子(7号館3階、L731研究室)、金曜日16:00-17:00 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	災害看護論	科目コード	BSNANS408	開設期	4年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要(授業の目的)					
日本国内外において起こる災害に関し学習し、災害時における看護の特性と役割を学ぶ。国内外の災害時の救援活動について理解を深める					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1、災害および災害看護に関する基礎的知識(社会の対応や個人の備えも含む)を説明できる			3、看護実践知識、4、論理的・科学的問題発見能力、5、問題解決判断力、12、多職種協調リーダーシップ		
2、災害が人々の生命や生活におよぼす影響を説明できる			1、生命の価値・人間の尊厳、		
3、災害時に看護が果たす役割を説明できる			3、看護実践知識、12、多職種協調リーダーシップ		
4、災害各期における看護活動をイメージすることができる			1、生命の価値・人間の尊厳、3、看護実践知識、4、論理的・科学的問題発見能力、5、問題解決判断力、6、コミュニケーションスキル、9、科学的根拠に基づく看護、12、多職種協調リーダーシップ		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	災害とは、災害の種類と災害サイクル	講義	秦野	教科書 p 13～p 48 まで「必ず」読んでおく	4時間
2	災害医療に関する国の施策と法律	講義	秦野	教科書 p 49～p 68 まで読んでおく	2時間
3	危機管理：減災・防災マネジメント	講義	秦野	教科書 p 69～p104 まで読んでおく 実習経験を振り返り、「もし、実習中に被災していたら」を想定し、「何ができたろう？」を各自が考えておく	4時間
4	配慮を必要とする人への支援と看護	講義	秦野	教科書 p 105～p148 まで読んでおく 特に P106、『災害時要援護者』を読み、どのような支援が必要か考える。	4時間
5	被災者と支援者に対するこころのケア	講義	秦野	教科書 p 149- p164 を読んでおく	4時間
6	災害初期から中長期における看護活動	講義	秦野	教科書 p 165～p194 まで読んでおく	4時間
7	災害時に必要な医療・看護技術	講義	秦野	教科書 p 195-p212 「CSCATTT とは」、「トリアージとは」、よく読んでおく	4時間
8	災害看護活動の実際	講義	秦野	過去の災害のビデオ、映像資料を視聴しておく (図書館の DVD、you tube, などから)	4時間
成績評価方法・基準	期末試験 70%、事前学習や授業内レポート(適時、授業内で提示する) 30%				
課題に対するフィードバック	フィードバックは講義時間内に行う				
教科書	・ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護、酒井明子 編、株式会社メディカ出版(2018)				
参考書・参考文献	適時紹介します。				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	秦野環 研究室 2号館1階、214 研究室 火曜日、12時10分～13時10分、 その他は事前にメールで連絡ください (office 365) その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	総合看護学実習	科目コード	BSNANS409	開設期	4年前期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	90時間	授業区分	実習
責任者	近末清美	担当者	看護系教員		
授業の概要(授業の目的)					
<p>総合看護学実習は、看護基礎教育における学習の総括であり、学生が主体的に展開する実習である。学生は本実習における課題を決定し、決定した課題を達成するために、実習の調整を主体的に行い、準備を整える。実践の場では、課題にそって看護を探究し、看護の本質にふれ、卒業後も継続して看護学を追求する姿勢について学ぶ。また、看護専門職者としての意識を高め、看護学の発展に寄与しようとする意欲をもつことが期待される。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 総合看護学実習において探究する課題を決定できる。 2. 課題を達成するために、必要とされる調整を主体的に行い、実習計画書を作成できる。 3. 看護倫理に基づく責任ある看護実践を提供できる。 4. 看護実践における看護職の役割と課題を探究することができる。 5. 看護の専門職として生涯学修すること、看護学の発展に寄与しようとする意識をもつことができる。			◎8. 看護実践の探究 9. 看護職の責務と医療安全管理 10. 将来の課題と看護職の役割		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1～15	1) 主体的に実習の準備を行なう。 ・実習で探究する課題を決定する。 ・課題を達成するための実習場所について、担当教員のサポートを受けながら決定し、実習計画書案を作成する。 ・担当教員との調整終了後、作成した実習計画書案について、実習場所の師長や教育担当者に説明し、必要であれば調整し、実習計画書を決定する。 2)実践 ・作成した実習計画書に基づき主体的に実習を行なう。 ・実習開始後に何らかの理由で実習計画の変更を必要とされた場合は、誰に相談すべきかを判断し、主体的に計画の修正を行なう。 ・課題を達成するために必要と判断したことについて積極的に考え、行動する。 3)まとめ ・実習の準備段階と実習一週間終了後のプログレスレポートを提出する。 ・最終レポートを提出する。	実習	看護系教員		
成績評価方法・基準	レポート：①実習計画 20%、②プログレスレポート 20%、③最終レポート 60%				
課題に対するフィードバック	担当者からその都度フィードバックを行います				
教科書	適宜紹介する。				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	シラバス内の専任教員連絡先一覧を参照し、指導教員に確認する。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				